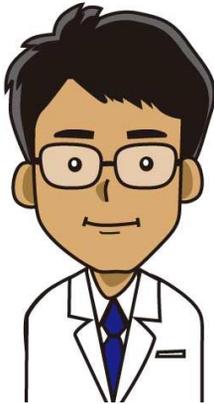


Step 1 研修の日程・内容を決める

○ファシリテーターの先生を決め、日程を調整する



ファシリテーター（進行役）

※ファシリテーターはどなたが担当しても構いません。研究主任や理科主任の先生が担当すると、より円滑に研修が進められます。

◆ 研修の日程調整

校内研修を実施する計画を立てます。年度初めに、学習指導要領や全国学力・学習状況調査の理科の問題に目を通し、理科の授業をどのように改善・改善していけばよいのかを職員全体で確認することが望ましいです。

また、授業検討会編では授業づくりを実施する学年と単元を決定するため、理科の研究授業を行う先生と調整を行います。

◆ 研修の準備

研修会会場の設営を行います。研修会スライドはあらかじめパソコンにダウンロードしておくことでスムーズに研修を行うことができます。

また、研修に必要なワークシートやアンケート等を印刷しておきましょう。

◆ 研修の実施

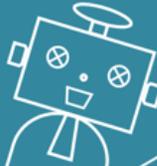
校内研修会はファシリテーター役の先生が進行します。進行台本を基に、学校の実態に合わせて進めてください。

Step 1 研修の日程・内容を決める

○研修内容を決める

研修したい内容に合わせて、研修を選択してください。ボタンに書いてある時間は研修時間の目安です。ボタンをクリックするとそれぞれの研修パッケージに移動します。

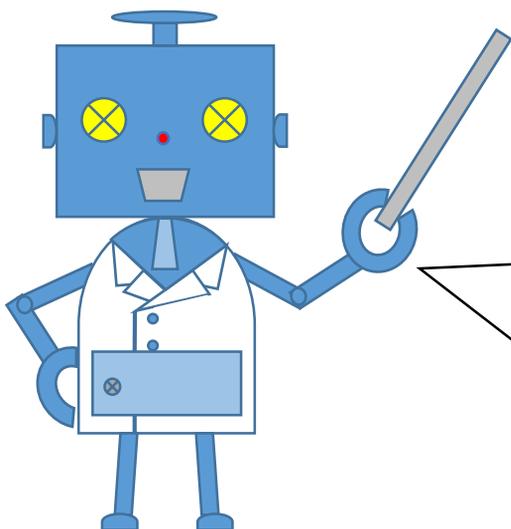
「みやぎ理科支援ナビ」校内研修ページ

 <h4>理論編</h4> <p>学習指導要領で求められている問題解決の力の育成について、動画を視聴しながら学べる。</p> <ul style="list-style-type: none">A 問題解決の力 20 minB 理科の見方・考え方 10 minC 全国学力・学習状況調査問題の活用 17 min <p>ひとりで研修する方はこちら </p>	 <h4>授業づくり編</h4> <p>各学年で中心的に育成を目指す「問題解決の力」を育成するための授業について、ワークショップ型の研修で学べる。</p> <ul style="list-style-type: none">3年 問題を見いだす力 30 min4年 根拠のある予想や仮説を発想する力 30 min5年 解決の方法を発想する力 30 min6年 より妥当な考えをつくりだす力 45 min <p>ひとりで研修する方はこちら </p>	 <h4>授業検討会編</h4> <p>「問題解決の力」を育成する観点で指導過程を作成し、授業実践を基に授業検討会を行うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none">指導過程の作成 6 min授業参観の視点 5 min校内研修 授業検討会 45 min <p> 授業検討会編は、授業者が指導過程を作成した後に、校内研修として授業検討会を行う流れになっています。</p>
 <h4>指導資料編</h4> <p>令和2年度から追加された学習内容や薬品管理について、動画を視聴して学べる。</p> <ul style="list-style-type: none">薬品管理について 5 min3年 音の伝わり方と大小 7 min4年 雨水の行方と地面の様子 7 min	<h4>活用マニュアルはこちら</h4>  <p>CHECK </p>	

Step 1 研修の日程・内容を決める

○研修内容を決める

研修 コンテンツ	特徴	所要時間 (目安)
理論編	解説動画やモデル授業を視聴したり、全国学力・学習状況調査理科の問題を解いたりして、小学校学習指導要領における理科の目標や育成したい問題解決の力について確認します。それを基に、今後どのように授業を改善・実践したら良いのかを受講者の皆さんで考える研修です。	17~20分
授業 づくり編	「校内で理科の授業改善にじっくり取り組みたい」「第3~6学年で育成する理科の問題解決の力について、具体的な授業づくりの方法を知りたい」と考えている先生方が対象です。「授業づくり編3年~5年及び6年B」は、モデル授業を基に、授業改善を行います。「授業づくり編6年A」は、付箋を使って、協働で授業構想を行う研修です。	30分~45分
授業 検討会編	指導過程を作成し、それを基に授業実践を行い、事後検討会を通して理科指導力の向上を図ることを目的に行う研修です。	45分 (授業検討会)



学校の実態に合わせて研修コンテンツを選んでください。
理論編, 授業づくり編には、個人で動画を見ながら研修できる「ひとりで理科研修」もあります。
(P.19へ)